

沖繩タイムス

OKINAWA TIMES

特別号

島ぜんぶでおーきな祭

第7回沖繩国際映画祭

企画・制作 沖繩タイムス社広告局
〒900-8678 那覇市久茂地2丁目2番2号

無料(Take Free)

ちゅらドル競いファン熱く

宜野湾華やか歌・踊り

総勢7組のアイドルグループによるライブステージと、未来の沖繩ローカルアイドルを発掘する「ちゅらドルオーディション」の決勝ステージによる、「Kawaiian TVアイドルライブスペシャル」が27日、宜野湾トロピカルビーチステージで開催された。新たな地元アイドル誕生の瞬間を見逃すまいと詰めかけた観客らが、ステージ前に大集結。橋本環奈ほか人気アイドルとその卵たちの可憐な笑顔と歌声に、会場からは熱い歓声が沸き上がった。

まずはハリセンボンと沖繩芸人あひるりのトークでオープニング。FUJIWARAら、ゲストのお笑い芸人も加わり、会場の空気が盛り上がり、会場は、未来の沖繩ローカルアイドルを発掘するオーディション「ちゅらドルオーディション」の決勝ステージがスタートした。

優勝を競い合うのは、去る2月21日に行われた予選会を通過した、最年少は5



「THE Kawaiian GRAND PRIZE」で優勝し、デビューをつかんだユメノカケラ

歳から上はなんと55歳までの17人による3つのグループ。約1カ月間をかけて厳しいダンスレッスンやボーカルトレーニングを受け、アイドル候補生として練習を重ねてきたという。課題曲を披露するメンバーは、緊張しながらも初々しい笑顔で熱唱し、客席からは温かい拍手が沸いた。

ここで、メジャーレーベルからのデビューが確定した「THE Kawaiian GRAND PRIZE」優勝グループが登壇し、デビュー曲を披露した。



橋本環奈が所属するRev. from DVLは、トリでライブパフォーマンスを披露

27日、宜野湾市のビーチステージでは、沖繩出身の「ちゅらドルオーディション」グランプリと育成枠に選ばれた4人によるライブが行われた。

「ちゅらドルオーディション」グランプリと育成枠に選ばれた4人

場。ユメノカケラというグループ名も発表され、観客の熱い声援の中、華々しくデビューを飾った。

最後は「よいよ」「ちゅらドルオーディション」グランプリ発表。「信じられない」と喜び合う2名のグループ受賞者と、特別に育成枠として選ばれた2名の熱い拍手が送られた。

「HEY! HEY! HEY!」ライブ

27日、宜野湾市のビーチステージでは、沖繩出身の「HEY! HEY! HEY!」が結集したライブ「HEY! HEY! HEY! CHAMPSPESYAL」が開催された。



BEGINは「オジー自慢のオリオンビール」を熱唱

このイベントの様子は、2015年4月4日(土)午前10時45分~11時40分にフジテレビにて放送される(関東地方のみ)。

市出身のロックバンド・HYが続いた。トリを飾ったのは、沖繩国際映画祭のテーマソング「笑顔のまんま」を手がけたBEGIN。次々と披露されるヒット曲の数々に、会場は一体感に包まれた。

ラストのクライマックスでは、この日登場したミュージシャンに加え、間寛平、木村祐一といった人気芸人もステージに呼び込まれ、BEGINを中心に「笑顔のまんま」を大合唱。観客も歌声を重ね、ビーチは幸せなムードであふれた。

「ちゅらドル」

那覇

「よしもと沖繩花月Presents」が27日、那覇市てんぷす前広場にはスクリーンとステージが設置され、さまざまなイベントが催される。



てんぷす前広場にはスクリーンとステージが設置され、さまざまなイベントが催される

謎の狩猟民族ダンソン族ネタでブレイク中の若手コンビ「バンビーン」が登場すると、会場は一気に盛り上がり、獲物になりたがる子どもたちが続出した。舞台上上がった約20人が「ニープラー」のかけ声で次々と捕獲された。

細かい小道具芸が人気のくまだまさしは、定番ネタのお尻クラッカーや鼻風船&チャルメラを披露。ブルマーの仕掛けをネタばらしする一幕もあった。

シーサーだより

▼15年前、テレビ番組「ASAYAN」の取材で会ったディレクターがタカハタ秀太だった。数々の番組演出を経ての長編映画第1作「原宿デニール」が秀逸だ。2015年春を鮮やかに切り取り、多国籍街をライブに浮かび上がらせている。観客に媚びない脚本はここ数年の邦画ベスト1。▼ヒロインは売り出し中の武田梨奈(23)。TVCの頭突き14枚瓦割りで脚光を浴びたが、空手黒帯1段でプロレス参戦経験もあり、志穂美悦子以来の本格的アクション女優として引つ張りだ。今年もすでに5本の映画が公開予定。海外からの注目度も高く、タイ、インドネシア、韓国の映画監督らと交流がある。▼今回の夫人警官役について聞く。「快感。無敵な感じ(笑)。道で一般人の人が制服にビクッとなるのがわかるんです」。この映画のもう一つのキーワードは「ダイソン(掃除機)並みのキス」シーン。「あまり覚えてないんです。でも壁ドン!みたいな感じで(彼氏からは)されたいかも」。相手役を演じたBEE SHUFFLEのミンスは「スタッフが大勢見ている中でやりにくかったです」。ほか4人のメンバーは本気で羨ましそうだった。(麻生香太郎)



「原宿デニール」主演の武田梨奈と、共演のBEE SHUFFLE

おばあタイムス

大城 さとし



語り尽くせぬ 五社ワールド

「鬼龍院花子の生涯」上映

27日午後、桜坂劇場で開催中の「桜坂映画大学」では、土佐の侠客と養女の絆を描いた五社英雄監督「鬼龍院花子の生涯」の上映と併せて、五社作品ファンの友近、映画評論家・春日太一、ガレッジセルによるトークが開催された。写真。映画の良さや春日の解説に感銘を受けたゴリに、友近が「私が五社五社言うてんのがわかったでしよ！」と言つて観客を沸かせていた。

「デイリーよしもと」配信中



御茶ノ水男子 おばけ屋敷に

島ぜんぶでおーきな祭中、現地からよしもと芸人の動画やニュースをお



この日限りで閉館予定の旅館に宿泊した客たちの運命を描く、爆笑と感動のTVディレクターズムービー「田沼旅館の奇跡」が27日夕刻、桜坂劇場で上映された。舞台挨拶には、主演の夏菜、遠藤久美子と、バツファロ一吾郎、ロバート、シンヌ、井出比左士監督が登場し、写真、大いに場内を沸かせつつ観客を盛り上げた。

キングオブコント王者が総出演

「田沼旅館の奇跡」上映



届ける「デイリーよしもと」が、JIMOTCM COMPETITIONのMCを務めた御茶ノ水男子の写真を直撃。二人は沖繩に来てすでに1カ月。3月12日にオープンした「沖繩おもしろおばけ屋敷」でもおばけ役を務めており、最近のスケジュール表が「おばけ」で埋め尽くされてきたとのこと。「僕たちのおばけをぜひ見に来てください」とアピールしていた。内容は「デイリーよしもと」で <http://daily.yym.jp>

沖繩で生まれ育った父は、高校卒業と同時に、競輪選手になるという夢をかなえるため大阪の街に出た。だが、父の夢はかなわなかった。競争に破れて挫折したのではない。父は見知らぬ大阪の街で迷子になり、試験会場にたどり着けなかったのだ。酒を飲むと気性は激しくなるが、普段は随分おっとりしている。

父は配管設備の職人になり、母と出会い、三人の子供を育てた。僕は大阪で生まれ育ったが、部屋にはシーサーがいたし、食卓には、ソーキそば、ゴーヤチャンプルなどの沖繩料理が頻りに並んだ。

まだ僕が幼い頃、よく父は僕に向かって、「フリムン！」という謎の言葉を放った。言葉の意味が分から

父の沖繩 ⑤ 又吉直樹(ピース)

高校時代、めずらしく父がサッカーの試合を観に来てくれたことがあった。大阪大会決勝。相手に先制を許し、後半に追いついた。興奮して、父の方を見ると、父は砂場で友達と相撲をとっていた。まったく試合を観ていなかった。自由な人だ。

沖繩に帰省した時の父は、家を修繕したり、魚を捕ったり、皆を笑わせたりと八面六臂の大活躍である。大阪での生活は少し息苦しかったのかも知れない。どこにしようかと、父の背景には沖繩の海がある。父はフリムンではなく、沖繩なのである。(明日に続く)

沖繩県民に拍手を

カンヌ国際映画祭、釜山国際映画祭などを取材してきたが、この映画祭での経験は確かに個性的だ。沖繩全体が盛り上がる祭りという感じがする。ここが70年前に悲劇的な歴史に巻き込まれ、数十万人が命を失った涙の地だったという事実が信じられないほどだ。そのような悲しみが込められている場所に笑いと愛を咲かせることは、深い意味を持つのではないだろうか。この映画祭が7年間続けてこられたのは、応援してきた沖繩県民のおかげである。県民の方々に拍手を送らなければいけないだろう。

外国人記者
ジョン・ヒョンモクさん
「中央日報」(韓国)



イオンモール沖縄ライカム 4月25日(土)グランドオープン!

北中城にオープンする県内最大規模の「イオンモール沖縄ライカム」。

コンセプトは「ここだからその沖繩体験で迎える"Okinawa Resort Mall"」

地元で暮らす人も、旅する人も、海外から訪れた人も。

ひとりひとりが時を忘れ、日常を忘れ、今を楽しむ。

そんな、暮らしと旅の新しいワクワクを、皆さまと一緒につかっていきたい。

さあ、ライカムから。この島を、もっともっと、おもしろく。

AEON MALL
イオンモール沖縄ライカム
<http://okinawarycom-aeonmall.com>